

(表)

収入申立本人(年金)記入例

○収入および所得に制限があるため、申請者の収入状況を確認する書類です。
必ず提出してください。

様式(第7条関係) 簡易な収入額の申立書(申請者本人用) 【公的年金給付等受給者】

- 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒にご提出ください。
- 申請者と生計を同じくする扶養義務者などの方がいる場合は、その方の前々年の年間収入額も勘案して支給を決定しますので、「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」も併せてご提出ください。
- 下記にある③の【要件】を満たす場合に支給の対象となります。

①申請者の前々年(令和2年1月~令和2年12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

	※年間の額をご記入ください。										円	注意事項	
	金額												
養育費【A】											0		※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
給与収入【B】	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		※給与と収入がある場合にご記入ください。 ※ 課税証明書 などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【C】											0		※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※ 帳簿 などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金相当収入【D】 (a-b)	3	1	7	0	0	0					0		※「年金収入【a】-児童扶養手当相当額【b】」で計算した額をご記入ください。
年金収入【a】	5	0	0	0	0	0					0		※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族に対して支給されるものも含まれます。 ※ 年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書 などの支給額がわかる書類をご提出ください。
児童扶養手当相当額【b】	1	8	3	0	0	0					0		※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。

収入がない場合は、「0円」と記入してください。

令和元年分の源泉徴収票等で確認してください。

年金を受給している方は、年金通知書等で確認してください。

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表(年額)

令和2年12月31日時点での児童数	支給額(年額)	※参考(月額)
児童0人	0円	0円
児童1人	121,920円	10,160円
児童2人	183,000円	15,250円
児童3人	219,600円	18,300円
児童4人	256,200円	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに36,600円(年額)を加算して

「児童扶養手当相当額早見表(年額)」を確認し、該当する金額を記入してください。
(例)児童2人の場合は183,000円

②前々年(令和2年1月~令和2年12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

年間収入額(A+B+C+D)	4	3	1	7	0	0	0				0	円	※上の太枠内の収入額の合計額をご記入ください。
----------------	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	---	---	-------------------------

上記、「養育費【A】、給与収入【B】、事業収入又は不動産収入【C】、年金相当収入【D】」の合計額を記入してください。

(次ページに続きます。)

(裏)

該当項目をチェックしてください。

③要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。

属性	<input checked="" type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 父母以外の養育者
----	--	-----------------------------------

以下のいずれかに該当する児童の養育者ですか。

- ・父が死亡または生死不明かつ母がない児童
- ・母が死亡または生死不明かつ父がない児童
- ・母がなく、かつ、父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・母が婚姻によらないで懐胎した児童であつて、母が死亡したものは母の生死が明らかでないもの
- ・父がなく、かつ母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童

NO → 収入基準A
YES → 収入基準B

対象の方のうち、令和2年12月31日時点において、16歳以上23歳未満の方は◎、70歳以上の方は○を記入してください。

令和2年12月31日時点において、申請者の方が生計を同じくし、養っている親族(児童含む)等を記入してください。
※収入が103万円以下の方が対象となります。

(2) 申請者が生計を同じくし養っている者(児童含む)の氏名をご記入ください。【☆】

(児童含む)または養っている親族以外の児童(令和2年12月31日現在)

収入基準Aの方			収入基準Bの方		
フリガナ	氏名	該当する場合は◎または○ 6歳以上23歳未満の親族(◎) 70歳以上の親族、配偶者(○)	フリガナ	氏名	該当する場合は○ 70歳以上(配偶者以外)の親族
ナガオカ アリス	長岡 アリス				
ナガオカ スズ	長岡 すず				
ナガオカ タダヨシ	長岡 忠義	◎			

上記表の対象の方の人数にチェックを入れてください。

(3) (2) でご記入いただいた方的人数にチェックしてください。

(2) の人数にチェックしてください。

人数	基準額	人数	基準額
0人	3,114,000円	0人	3,725,000円
1人	3,650,000円	1人	4,200,000円
2人	4,125,000円	2人	4,675,000円
3人	4,600,000円	3人	5,150,000円
4人	5,075,000円	4人	5,625,000円
5人	5,550,000円	5人	6,100,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i (3) で選択した基準額	4,600,000円	i (3) で選択した基準額	円
ii (2) の◎の数×150,000円	150,000円	ii (2) の○の数×60,000円	円
iii (2) の○の数×100,000円	円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
収入基準額 (i + ii + iii)	4,750,000円	収入基準額 (i + ii)	円
年間収入額 (表面の②)	4,317,000円		

表面の②の金額を記入してください。

◎年間収入額(表面の②)が収入基準額(i + ii + iii)を下回っている場合は、支給対象となります。

→【要件】②の年間収入額が収入基準額を下回っている

※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】(内容を確認して、氏名をご記入ください。)

・私は【要件】に該当しており、本申立の内容に相違ありません。
また、収入額が分かる書類(課税証明書や年金額改定通知書等)を提出しています。

必須

令和 4年 7月 ●●日

申請者氏名 長岡 忠司

内容の確認をしたら、日付と申請者氏名を記入してください。

上回っている場合

「簡易な所得額の申立書」の記入をお願いします。